


子どもにとって 病気になったことの意味



長い期間の治療を要する病気になった子どもたちは、病気になったことをどう感じ、どう受けとめていくのでしょうか？発達する存在である子どもたちには、それぞれの発達段階に応じた認識のしかたがあります。そのために、病気になったことの意味にちがいがみとめられます。乳児期～幼児期前期、幼児期後期～児童期前期、思春期以降、それぞれの段階の子どもの姿を通して、子どもにとっての「病気」の意味を考えます。
(講師：仁平 説子)

入場無料!

日時：2012年6月17日(日) 13時30分開演(13時開場)

場所：仙台厚生病院 熊谷・海老名ホール
(仙台市青葉区広瀬町4-15 仙台厚生病院 隣接)

会場へは、公共交通機関をご利用ください!

講師：仁平 説子 先生(臨床発達心理士)

講師プロフィール

東北大学大学院文学研究科修士課程(心理学専攻)修了後、東北大学医学部附属病院鳴子分院にて言語治療に携わる。その後、宮城県中央児童相談所(嘱託)、仙台市児童相談所(嘱託)などを経て、現在、塩竈市、多賀城市などで発達相談や療育相談に携わる一方で、東北大学病院小児科で心理士(非常勤)として患児のメンタルケアにあたっている。

日本発達心理学会員、日本小児血液・がん学会員。

申込方法：会場収容人数に限りがありますので、参加希望の方は事前にお申し込みが必要になります。必要事項をご記入の上、ハガキ、FAX、またはE-mailにてお申し込みください。

* 必要事項：

- ①お名前
- ②連絡先(住所と電話番号)

* お申し込み先

NPO法人ワンダーポケット

〒981-0951 仙台市青葉区滝道 46-8 OYスターハウス 101

TEL&FAX 022-277-5702

Email: info@w-p.jp ホームページ <http://www.w-p.jp/>

